



下中野のツバキ(下中野361)

私のまちの
近い
遺産

しゃくやく ぼたん
立てば芍薬、座れば牡丹
歩く姿は“ツバキ”の花…？

ツバキの花言葉が、「気取らない優美さ」「控えめな素晴らしさ」であることを知っていましたか？今回は、市指定文化財に指定されているツバキを紹介します。

Topic

散った後も優美なツバキ

市の指定文化財に指定されているツバキは、4月下旬頃には樹下に散りますが、その姿はまるで自然のレッドカーペットです。満開に咲いている姿も圧巻ですが、散ったあとも優美な姿をみせてくれるツバキをお見逃しなく！



散った後もかわいらしい姿を見せてくれます

市の文化財に指定されているツバキは「下中野のツバキ」・「前弥六のツバキ」などで、どのツバキも樹齢200年以上となつていいます。例年3月下旬～4月中旬頃が見ごろで、地元の新聞にも取り上げられたことのあるこのツバキ。なかでも「下中野のツバキ」は、1番の年長さんで、推定樹齢550年を数えます。5世紀とちよつとの間、私のまちを眺めていたツバキがあると思うとなんだか感慨深いですね。

基本的にツバキの分布地は海岸沿いのため、内陸の那須塩原市でツバキが咲いているのはめずらしいです。

**ツバキのそっくりさん
サザンカ、カンツバキ**

ツバキとよく似た花に“サザンカ”や“カンツバキ”があります。一見よく似ていますが、ツバキは冬から春にかけて開花するのに対して、サザンカやカンツバキは晩秋から冬にかけて花を咲かせます。また、ツバキは花が丸ごと落ちるのに対して、サザンカやカンツバキは花弁がバラバラに散るため、見分けることができます。

いとされています。そのため、樹齢、根回り、樹高も大きいツバキはとても貴重なものとなつています。自分の住んでいる町に、こんなにも素敵なツバキがあるなんて驚きですね。